

未来を思い描く学習

地球の環境について

宗像市立地島小学校 5年 橋本 千紘

私は地島に住んでいます。地島は海に囲まれています。だから島に住んでいるほとんどの人が漁師をしています。しかし、最近、地球環境が悪くなってきています。そして、海の魚にも影響が出ています。私は、魚がとれなくなったらどうしようと思いました。海を汚す大きな原因はゴミや合成洗剤です。私は、まず、ゴミを減らそうと思いました。しかし、生活の中でゴミを減らそうと思っても、なかなか減らせません。海に行き、ゴミを拾ってもなかなか減らず、増えていばかりでした。私は、どうすれば海をきれいにできるかなと思っていました。

すると2021年9月に地島で合成洗剤ではないシャボン玉石けんを使う実証実験が始まりました。11月31日までの3か月間でした。最初のころは、使いにくくていやだなと思っていました。しかし、総合的な学習の時間で、石けんについて学んだことをきっかけに、石けんは少し使いにくいけれど、環境に良く、自分の体にも害が少ないことがわかりました。それに比べて、合成洗剤は、使いやすいけれど、環境に悪く、自分の体にも害があることを知りました。それから、私は石けんを好んで使うようになりました。11月ごろにシャボン玉石けんのリモート工場見学がありました。最初に石けんと合成洗剤の違いをくわしく聞きました。とても分かりやすかったです。次に、工場見学をさせてもらい石けん作りを見せてもらいました。そして、石けんは害がないので食べることができ

新年 あけまして おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の流行に注意を払いながら、3学期の学校生活が始まりました。

3学期は、文化祭、椿まつり、卒業式、修了式と、今までの教育活動の成果を、多くの方に見ていただく行事が多くあります。その一つ一つの成功に向けて、子供たちはスタートダッシュをしているところです。子供たちが達成感を味わうことができるよう、教職員一同、全力でサポートしてまいります。今年もよろしく願っています。

るということを知りました。だから海に流しても魚には害がないのです。

シャボン玉石けんを使う期間が終わっても、私はシャボン玉石けんを使いたいと思うようになりました。そして、私はこう考えました。

「これまで学んできたことを広めよう。」

「少しでも多くの人に伝えて、少しでも石けんを使ってもらおう。」

「地球環境を少しでも考えて、守ってもらおう。」

今まで、私には、パティシェになりたいという夢がありました。しかし、石けんについて学んで、科学者になってみたいと思うようになりました。私は、科学者になって合成洗剤の使いやすいという良いところと、石けんの海や川、自分の体に害がないという良いところを一つにした洗剤を作りたいと考えています。そして、少しでも多くの人に使ってもらって、環境を良くしたいです。それが、地島の海を守ることに繋がると思うのです。ほかにもゴミを減らすにはどうするべきか考えたいです。

今まで、私はやりたいけど、できないなあきらめることが多かったです。けれど、これはできないけれど、これはできそうなど、できることを探していきたいです。

2学期に宗像市と「シャボン玉石けん」が提携し行った「環境実証実験」を機会に、せっけんのことや、環境のことを総合的な学習の時間に考えました。その学習をもとに、5年生の橋本千紘さんが、冬休みに左の作文を書きあげました。

何かを理解し、何かの技を身につけることは学習として大切ですが、最終的には、自分の生き方とつながる知識や技能でなければならないと考えます。もちろん、学び続けることで目指す生き方も変わり続けます。千紘さんも、これから、学び続けることで、その夢が変容したり、さらに大きく成長したりすることでしょう。

学校で学ぶことが、何の役に立つのか？という問いに対する一つの答えが、「自分の生き方を考えるために学ぶ」だということを改めて感じた作文でした。

新型コロナウイルス感染症が、急激に広がっています。本校では、宗像市の施策に基づきながら、PTA評議委員会と連携し、子どもたちが安全に学び続ける対策をとってまいります。行事等につきましては、変更等もあるかもしれませんが、随時、連絡いたします。